

平成29年度

## 事業報告書

特別養護老人ホーム虹ヶ丘  
ヶ ア ハ ウ ス 虹 ヶ 丘  
虹ヶ丘短期入所生活介護事業所  
虹ヶ丘デイサービスセンター  
虹ヶ丘在宅介護支援センター  
虹ヶ丘ホームヘルパーステーション  
虹ヶ丘障害者短期入所事業所  
虹ヶ丘障害者居宅介護事業所  
ふれあいホーム 神宮寺

# 平成29年度 高齢者総合福祉施設虹ヶ丘 事業報告書

## (1) 総括

### ①人材育成及び業務見直しへの取り組み

- ・人材育成の柱となるOJT(On-the-Job Training)を効果的なものにするため、主任・係長級の指導力やマネジメント力を強化する外部研修の機会を増やした。加えて、各職員の経験年数や資格等を勘案して派遣研修や伝達研修、講師派遣の機会等を適時取り入れるようにした。育成の途中に退職した新人職員もいたが、すぐに結果が出せるものではないため、平成30年度も継続して取り組みを進めたい。
- ・各種の実習の受入れを積極的に行い、業務や役割を分かりやすく他者に伝えるために業務の見える化を進め、地域を含めた福祉人材の育成・養成に努めた。
- ・平成29年度は実地指導や施設長の交代等によって、普段何気なく行っている業務内容の意味や根拠について振り返る機会が多くあったため、変更すべきことは随時変更してきた。食事形態の整理、シフトの弾力的運用等、利用者のニーズはもちろんのこと、職員の働きやすさについても継続して考えていきたい。

### ②事業見直しへの取り組み

- ・各部署の稼働状況について意見交換の機会を内部で設け、新規利用者の獲得や利用者の受入れ等の工夫を行った結果、収入ベースでみた全体的な稼働率としては前年度に比べて微増となった。ただし通所介護、訪問介護では平均稼働率は前年度に比べて低下した。サービス種類ごとに抱える環境的要因が異なるが、次年度も安定した事業運営ができるように収支状況の改善に向けた工夫や調整をしていきたい。
- ・サロン活動等の地域支援活動の他に、家族会や認知症サポーター養成講座は例年通り取り組むことができた。介護や認知症に対して広く住民の理解が進むよう普及啓発の取り組みを一層充実させていきたい。

### ③経費の有効な活用への取り組み

- ・大型修繕に関しては、エアコン更新工事が終了し、夏季の電気代を大幅に削減することができた。積雪により工事期間が延長していた外壁工事も終了し、外観の印象を良くすることができた。電話・ナースコールの更新工事は工事仕様を固めることに時間がかかってしまい、着工が年度末まで遅延することになった。工事後は業務の運用面の合理化と光電話等への切り替えによるランニングコストの減少効果が期待される。
- ・車両については、リース期間満了を迎えた車両は購入して自車とし、マイクロバス等使用頻度の割には修理費用がかかっていた車両は売却することで年間維持費を削減した。また経年劣化の激しい車両については新車に更新した。次年度以降についても車両にかかる費用対効果が高められるように車両更新計画を作成した。
- ・プリンター等の印刷機、携帯電話、無線機については一定の整理を図り、かかる維持費は減少した。その他にも水道・ガス代については機器の取り付けによる若干の減少がみられた。

## (2) 面会状況

月	人数
4	112
5	115
6	101
7	113
8	104
9	78
10	89
11	121
12	116
1	181
2	101
3	153
合計	1,384

## (3) 健康管理状況

内容	利用者(特養)		職員	
	月	人数	月	人数
血液検査	7	49	7・9	111
			12	39
尿検査			7・9	108
			12	37
心電図検査	7	49	7・9	99
			12	27
胸部レントゲン検査	7	49	7・9	111
			12	5
インフルエンザ予防接種	11	46	11	66
			12	44

## (4)年齢構成別荷重平均栄養価(所要量・摂取量)(4月分)

栄養項目	特養	ケア	所要量	単位
エネルギー	1,452	1,452	1,573	kcal
たんぱく質	56.2	56.2	58.1	g
脂質	35.6	35.6	42.1	g
カルシウム	454	454	660	mg

※ 食事摂取基準に基づき施設にあわせた所要量を算出

## (5)全体行事

月/日	行 事 名	参加者数	月/日	行 事 名	参加者数
4/26	避難訓練	16	10/18	衆議院議員選挙不在者投票	27
4/29	加悦谷祭り見学	80	10/28	第10回福祉の里まつり	300
5/26	避難訓練	16	11/16	府議会議員補欠選挙不在者投票	26
6/8	夢織りの郷合同草刈り	4	11/17	避難訓練	15
6/16	避難訓練	15	12/15	初期消火・通報訓練	8
6/21	ふれあい(歌謡ほのぼの会)	40	12/15	カトリック教会クリスマスコンサート	50
7/10	健康診断	49	12/28	虹ヶ丘餅つき	80
7/21	避難訓練	16	1/1	新年祝賀式	90
7/25	ワークショップオオツキ出張販売	15	1/24	初期消火・通報訓練	8
8/5	虹ヶ丘夏祭り	100	1/29	ふれあい(歌謡ほのぼの会)	50
9/23	敬老祝賀式	60	2/23	ふれあい(歌謡ほのぼの会)	50
10/13	施設内草刈り		3/23	初期消火・通報訓練	8

## (6) ボランティア受入れ状況

月	グループ名	参加者数	内 容	月	グループ名	参加者数	内 容
4	個人ボランティア	1	買物援助	10	天理教	5	車いす清掃
	個人ボランティア	2	交通安全教室		個人ボランティア	1	歌
					個人ボランティア	1	買物援助
					福祉の里まつり	47	模擬店・ステージ 利用者対応など
5	暁星高校ボランティア	1	利用者対応	11	こすもす会	8	窓拭き
	歌謡ほのぼの会	7	歌謡		歌謡ほのぼの会	7	歌謡
	個人ボランティア	1	買物援助		個人ボランティア	1	買物援助
	天理教	5	車いす清掃				
6	天理教	5	車いす清掃	12	セシリア会	12	歌等
	個人ボランティア	1	買物援助		個人ボランティア	1	歌
	個人ボランティア	1	歌		個人ボランティア	1	買物援助
	歌謡ほのぼの会	7	歌謡		にしき会	3	餅つき
7	あけぼの会	16	神宮寺草取り	1	白帆会	4	南京玉すだれ
	ローズラブ	5	オカリナ演奏		個人ボランティア	1	買物援助
	個人ボランティア	1	買物援助				
	つつじ会	7	窓拭き				
8	虹ヶ丘夏祭り	25	着付け・模擬店 ステージ等	2	天理教	4	車いす清掃
	個人ボランティア	1	買物援助		個人ボランティア	1	歌
	歌のボランティア	7	歌と楽器演奏		個人ボランティア	1	買物援助
					歌謡ほのぼの会	7	歌
9	天理教	4	車いす清掃	3	個人ボランティア	1	買物援助
	個人ボランティア	1	買物援助		歌謡ほのぼの会	7	歌

## (7) 体験学習・研修受け入れ

月	内 容	実人数
6月～3月	暁星高等学校教員実習	1名
8月	暁星高等学校実習	1名
10月	看護学校実習	4名
10月～11月	舞鶴YMCA国際福祉専門学校 I b実習	2名
10月～11月	舞鶴YMCA国際福祉専門学校 I c実習	2名
10月	福祉即戦力人材養成科実習	2名
11月	江陽中学校体験学習	10名
11月	福祉即戦力人材養成科実習	2名
12月	京都府介護等体験受入	1名
3月	京都府介護支援専門員実務研修実習	1名
3月	京都府介護等体験受入	1名

## (8)内部研修

月	内 容	講 師	人数
4月	虹ヶ丘新人研修①(施設理念・コンプライアンス・就業規則等)	施設長他	11
4月	特養ケース検討	神内理学療法士	6
4月	基本的介護技術(初級Ⅰ)	神内理学療法士	11
5月	虹ヶ丘新人研修②(コミュニケーション・記録の書き方等)	副施設長他	11
5月	特養新人研修(入浴・排泄・食事・医療的ケア)	特養リーダー会議	5
5月	特養新人研修②(ユニットケア・ケアプラン・看取り)	施設福祉課長他	1
5月	基本的介護技術(初級Ⅱトランスファー)	神内理学療法士	14
5月	特養ケース検討	神内理学療法士	5
6月	虹ヶ丘新人研修③(認知症・感染症対策等)	小規模多機能係長他	12
6月	人事考課制度説明会	施設長	6
6月	平成29年度第1回感染症勉強会①	感染症委員会	34
6月	特養ケース検討	神内理学療法士	3
6月	特養ケース検討	神内理学療法士	5
7月	虹ヶ丘新人研修④(事故防止・身体拘束の廃止)	生活支援係長他	11
7月	平成29年度第1回感染症勉強会②	感染症委員会	34
7月	リハビリ勉強会(片麻痺について)	神内理学療法士	12
7月	平成29年度普通救命講習①	宮津与謝消防組合	14
7月	リハビリ勉強会(シーティング & ポジショニングの基礎知識)	神内理学療法士	20
7月	平成29年度コンプライアンス勉強会①	施設長	40
8月	平成29年度普通救命講習②	宮津与謝消防組合	13
8月	平成29年度コンプライアンス勉強会②	施設長	34
8月	平成29年度リスクマネジメント勉強会①	リスクマネジメント委員会	32
8月	リハビリ勉強会(パーキンソン病)	神内理学療法士	18
9月	虹ヶ丘新人研修⑤(災害時対応・褥瘡予防)	施設福祉課長他	11
9月	平成29年度普通救命講習③	宮津与謝消防組合	11
9月	平成29年度コンプライアンス勉強会③	施設長	29
9月	平成29年度リスクマネジメント勉強会②	リスクマネジメント委員会	34
9月	メンタルヘルス研修①	武田理栄子氏	41
9月	特養ケース検討	神内理学療法士	4
9月	基本的介護技術(初級Ⅲ)	神内理学療法士	13
10月	メンタルヘルス研修②	武田理栄子氏	38
10月	メンタルヘルス研修③	武田理栄子氏	17
10月	平成29年度褥瘡勉強会①	神内理学療法士	40
10月	平成29年度褥瘡勉強会②	神内理学療法士	33
11月	平成29年度第2回認知症TVセミナー	北部医療センター言語聴覚士	9
11月	岩滝あじさい苑 キャラバンメイト委員会主催勉強会	あじさい苑キャラバンメイト委員会	4
11月	ユニットIN北京都虹ヶ丘施設研修「人材育成について」	武田和典氏	14
11月	平成29年度看取り介護勉強会	ターミナル委員会	15
11月	OJT推進能力向上研修 伝達報告会	栗倉・糸井・大塚	13
11月	特養ケース検討	神内理学療法士	6

11月	デイサービスリハビリ勉強会	神内理学療法士	10
11月	リハビリ勉強会(ベッド上での食事姿勢について)	神内理学療法士	16
12月	平成29年度第2回感染症勉強会①	感染症委員会	34
12月	平成29年度第2回感染症勉強会②	感染症委員会	38
12月	リハビリ勉強会(利用者・介護者に負担の少ない移乗方法)	神内理学療法士	12
1月	平成29年度第2回リスクマネジメント勉強会①	リスクマネジメント委員会	40
1月	特養ケース検討	神内理学療法士	2
2月	特養ケース検討	神内理学療法士	3
2月	リハビリ勉強会(利用者に適した車いすの調整方法)	神内理学療法士	6
2月	リハビリ勉強会(浮腫の勉強会)	神内理学療法士	6
3月	認知症勉強会(認知症サポーター養成講座)	桑原さわ江氏他	23
3月	平成30年度介護報酬改定勉強会	施設長	29
3月	平成29年度第2回リスクマネジメント勉強会②	リスクマネジメント委員会	40
3月	デイサービスリハビリ勉強会	神内理学療法士	7
3月	特養ケース検討	神内理学療法士	6
3月	腰痛予防勉強会	神内理学療法士	11

## (9)派遣研修

月	研 修 名	主 催 者	人数
5月	スーパーバイザー養成研修	京都府福祉人材研究センター	1
5月	転倒転落防止対策研修会	北部医療センター	1
5月	平成29年度 京都府認知症介護実践者等養成研修	京都府	1
6月	平成29年度 京都府認知症介護実践者等養成研修	京都府	1
6月	キャリアアップ研修会	京都府社会福祉協議会	1
6月	スーパーバイザー養成研修	京都府福祉人材研究センター	1
6月	チームワークを高めるコミュニケーション	北部医療センター	2
6月	平成29年度 喀痰吸引等京都府指導養成研修	京都府	1
6月	指導看護師フォローアップ研修	京都府看護協会	1
6月	ユニットケア導入研修	京都府老人福祉施設協議会	1
6月	施設看取り専門研修	京都府老人福祉施設協議会	1
6月	平成29年度 喀痰吸引等京都府指導養成研修	京都府	1
7月	機能訓練指導員の役割とアセスメント向上研修	京都府リハビリテーション支援センター	2
7月	平成29年度 甲種防火管理新規講習	宮津与謝消防組合消防本部	2
7月	中堅職員向OJT推進能力向上研修	福知山市民間社会福祉施設連絡協議会	3
7月	スーパーバイザー養成研修	京都府福祉人材研究センター	1
7月	ソーシャルワーカーデイ公開講演会	京都府社会福祉士会	1
7月	運営基準に沿った居宅介護支援の実務	京都府介護支援専門員会	1
7月	施設看取り専門研修	京都府老人福祉施設協議会	1
7月	オレンジロードつなげ隊養成研修	京都府	1
7月	介護支援専門員 更新研修課程 I	京都府	1
7月	栄養士等ネットワーク推進研修会	京都府丹後保健所	1
8月	平成29年度 次世代リーダー養成研修	福知山市民間社会福祉施設連絡協議会	1
8月	スーパーバイザー養成研修	京都府福祉人材研究センター	1
8月	介護支援専門員 更新研修課程 I	京都府	1
8月	平成29年度 民間社会福祉施設長研修会	京都府	1
8月	平成29年度 京都府認知症介護実践者等養成研修	京都府	2
8月	特定給食施設従事者等講習会	京都府丹後保健所	1
8月	府老協新任施設長研修	京都府老人福祉施設協議会	1
9月	身体拘束ゼロ推進研究委員会リーダー研修	京都府老人福祉施設協議会	1
9月	認知症介護実践リーダー研修	京都府老人福祉施設協議会	1
9月	キャリアアップ研修会	京都府社会福祉協議会	1
9月	認知症ケアの実際 BPSDのケアを中心に	京都府看護協会	1
9月	働き方セミナー&個別相談会	京都府社会保険労務士会	1
9月	第34回京都北部職員研修会	6福祉会共催	1
9月	施設看護師に求められる役割と看護ケアの視点セミナー	日本通所ケア研究会	1
9月	ユニットケア施設管理者研修	日本ユニットケア推進センター	1
9月	介護支援専門員 更新研修課程 I	京都府	1
9月	平成29年度 次世代リーダー養成研修	福知山市民間社会福祉施設連絡協議会	1
10月	認知症介護実践リーダー研修	京都府老人福祉施設協議会	1

10月	認知症の方を介護されている家族の思い デイサービスに期待すること	京都府老人福祉施設協議会	2
10月	平成29年度 産業医・衛生管理者等研修会	丹後産業保険連絡協議会	1
10月	介護支援専門員 更新研修課程Ⅱ	京都府	2
10月	訪問介護・看護事業者のための労務管理研修会	丹後労働基準監督署	1
10月	平成29年度 福祉即戦力人材養成科実習指導者向講習会	京都府北部福祉人材確保事業事務局	1
10月	安全運転管理者講習	京都府公安委員会	1
10月	認知症介護実践リーダー研修	京都府老人福祉施設協議会	1
10月	高齢者障害者等入所施設感染予防対策研修会	京都府丹後保健所	1
10月	コミュニティに強いソーシャルワーカーを養成する研修	日本ソーシャルワーク教育学校連盟	1
10月	社会福祉専門セミナー アンガーマネジメント基礎編	京都府社会福祉協議会	1
10月	傾聴カトレーニング 傾聴のある援助者になるため	丹後地域リハビリテーション支援センター	1
10月	丹後地域リハビリテーション支援センター研修会	京都府社会福祉協議会	5
11月	認知症介護実践リーダー研修	京都府老人福祉施設協議会	1
11月	高齢者障害者等入所施設感染予防対策研修会	京都府丹後保健所	1
11月	看取りケアカフェ	与謝野町/丹後保健所	2
11月	介護支援専門員 更新研修課程Ⅱ	京都府	2
11月	お気軽サミット IN丹後	京都府丹後保健所 企画調整室	1
11月	平成29年度 京都府認知症介護実践者等養成研修	京都府	1
11月	ユニットIN北京都施設研修虹ヶ丘	ユニットIN北京都	14
12月	認知症介護実践リーダー研修	京都府老人福祉施設協議会	1
12月	在宅サービス関係者と北部医療センター職員「在宅看取り」検討会	北部医療センター/丹後保健所	2
12月	介護支援専門員実務研修指導者研修	京都府健康福祉部	2
12月	地域密着部会サービス部門研修会	京都府老人福祉施設協議会	2
12月	宮津市民公開講座「認知症啓発」協力	京都府丹後保健所	1
12月	介護ICTメッシュ無線LANセミナー	株式会社富士データシステム	1
12月	朝・夕厨房無人化セミナー	ナリコマ	2
12月	コーチングを活かしたアンガーマネジメントについてステップ編	京都府社会福祉協議会	1
12月	福祉リーダーの極意を学ぶセミナー	京都府社会福祉協議会	2
12月	認知症介護実践者研修	京都府	1
12月	平成29年度医療保険・介護保険同時改定に向けた動きに関する研修会	宮津市	1
12月	平成29年度 福祉避難サポートリーダー養成研修	丹後保健所	1
12月	2017年後期ユニットリーダー養成研修	日本ユニットケア推進センター	1
1月	認知症介護実践者研修	京都府	1
1月	2017年後期ユニットリーダー養成研修 施設実習	日本ユニットケア推進センター	1
1月	リロケーションダメージの理解と対応	京都府老人福祉施設協議会	1
2月	平成29年度 小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	京都府老人福祉施設協議会	2
2月	若年性認知症支援研修会	丹後保健所	2
2月	与謝野町介護ロボット等視察研修	与謝野町役場福祉課	1
3月	平成30年度診療報酬介護報酬同時改定を考える研修会	京都府老人福祉施設協議会	3
3月	北部ブロック施設職員研修会	丹後・中丹西・中丹東ブロック	1
3月	高齢者の尊厳、権利擁護について考える虐待防止トレーナー養成基礎研修	京都府老人福祉施設協議会	1
3月	平成29年度 社会福祉法人会計実務決算講座	全国社会福祉法人経営者協議会	1
3月	栄養士研究会	丹後保健所管内栄養士研究会	1
3月	認知症介護実践者研修	京都府	1



## (10) 諸会議参加状況

会 議 名	主 催 者	延べ日数
ユニットIN北京都ケアマネ部門会議	ユニットIN北京都	6日
ユニットIN北京都デイサービス部門会議	ユニットIN北京都	6日
ユニットIN北京都介護部門会議	ユニットIN北京都	10日
ユニットIN北京都小規模多機能部門会議	ユニットIN北京都	6日
ユニットIN北京都介護部門相互評価	ユニットIN北京都	1日
ユニットIN北京都給食部門会議	ユニットIN北京都	4日
ユニットIN北京都看護部門会議	ユニットIN北京都	2日
ユニットIN北京都全体会	ユニットIN北京都	2日
与謝野町地域ケア会議	与謝野町	3日
キャラバンメイトコアメンバー会議	与謝野町	2日
与謝野町認知症カフェ会議	与謝野町	5日
認知症初期集中支援チーム検討会	与謝野町	1日
認知症啓発プロジェクト会議	与謝野町	3日
地域包括運営協議会	与謝野町	1日
京都府職員研修 キャラバンメイト活動	丹後保健所	1日
与謝郡小規模連絡会議	与謝郡小規模連絡会議	3日
与謝郡小規模多機能介護士交流会	与謝郡小規模多機能介護士交流会	5日
与謝野町福祉事業所連絡会	与謝野町福祉事業所連絡会	1日
与謝野町ケアマネ連絡会	与謝野町ケアマネ連絡会	3日
与謝野町ヘルパー交流会	与謝野町ヘルパー交流会	3日
京都府老人福祉施設協議会北部ブロックケアハウス等生活相談員研究会	京都府老人福祉施設協議会	3日
京都府老人福祉施設協議会丹後ブロック施設長会	京都府老人福祉施設協議会	1日
在宅サービス関係者と北部医療センター職員との連携会議	北部医療センター/丹後保健所	1日
江陽中事前学習会出講	江陽中学校	1日
キャラバンメイト活動	キャラバンメイト委員会	1日

## (11) 高齢者介護者教室

月 日	内 容	参加者数	会 場
7月11日	支援センター家族交流会	5	虹ヶ丘介護教育室
8月29日	聞こえ方の勉強会	11	石川農業構造改善センター
11月7日	支援センター家族交流会	3	大宮ふれあい工房

## (12) 事故状況

事故報告の総件数は808件(前年度767件)で前年比約5%の増加となった。一方ヒヤリハット報告については252件(同311件)と20%減少している。事業所別では特養で起きた事故が615件を占めており(全体の76%)、ショートステイが83件(同10%)となっていることから、殆どの事故が特養・ショートステイで占めていることとなる。在宅の件数は減少傾向にあるが、特養の件数は逆に増加した。事故の内容別に見ると、原因不明の怪我が最も報告が多く、次いで転倒・転落事故、薬関係の事故、介助中の事故と続きそれら4つの報告が全体の約9割を占めている。

受診に至った事故については施設全体で7件あり、うち3件が骨折を伴う大きな事故となった。特に職員が手薄となる夜間帯に、居室等での転倒による骨折・創傷が多く、転倒防止のためセンサーマットを活用しているが、事故が防ぎきれない側面も見られる。また、平成28年度に介助中に創傷が出来、悪化したため29年度に受診される事例もあった。

全体として事故の件数は前年とほぼ変わらないものの、受診を伴う事故や薬関係の事故など重大な事故は依然報告されており、職員の不注意による事故も含まれている。事故全体の件数を減らすことも重要だが、重大なインシデントをいかに減らすかに着目し次年度も取り組みたい。

## (13) 満足度アンケート

回収率については、46.7%から38.8%と大きく下がった。満足度は「満足」と「やや満足」を足して93.1%と昨年の91.1%から微増となり、「不満」、「やや不満」と答えた方はなかった。あらゆる面からのサービス改善を行うためにもできるだけ多くの方からご意見を頂戴できるような工夫を検討していきたい。

意見・要望については、「愛想がない職員がいる」、「笑顔をもう少し増やして欲しい」、「個人情報への対応が不十分」等、サービスマナーやコンプライアンスに関わる問題や、「入浴回数を増やして欲しい」、「汚れが目につく」等、入居者・利用者の暮らしの質に直接関係する項目への要望も複数頂戴した。また「情報が届いていない」、「利用時の様子を教えてもらいたい」等、ご利用者や介護家族とのコミュニケーション量の不足を思わせる要望も頂戴した。繰り返しご指摘をいただいている内容もあり、人員体制がなかなか整わない状況でもあるが、多様化するニーズに対応できる体制づくりが継続した課題となっている。

### ① 配布数と回収率

	配布数	回答数	回収率
特養	48	25	52.1%
ケア	21	10	47.6%
在宅	137	45	32.8%
小規模多機能	21	5	23.8%
不明		3	
合計	227	88	38.8%

### ② サービスごとの満足度

	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	合計
特養	21	3	0	0	1	25
ケア	7	3	0	0	0	10
在宅	34	8	0	0	2	44
小規模多機能	4	1	0	0	0	5
不明	1	0	0	0	3	4
合計	67	15	0	0	6	88
回答構成率	76.1%	17.0%	0.0%	0.0%	6.8%	

# 平成29年度 特別養護老人ホーム虹ヶ丘 事業報告書

## 1 総括

今年度は昨年度からの継続課題であるユニットを越えた相互の支援体制について議論を重ねてきた。厳しい職員体制の中、ユニット職員だけでは対応できない状況もあるため、グループ間で従事できる職員を作り、入居者のニーズやハプニングにも柔軟に対応できるようにハードとソフト両面の見直しを行い、平成30年度から本格的に弾力的なユニット体制の実践を始めている。

入居者においては、今年度は10名の方が退所された。そのうち施設で看取りをさせていただいたのは6名。看取りケアを行うにあたり、随時ご本人やご家族の意向を確認し、できることは何かを各専門職間で共有しながらご家族の協力を得て、寄り添うケアに努めた。看護・相談・ケアマネで構成していたターミナルケア会議を、10月から介護・看護・相談・栄養・ケアマネの多職種で構成する看取り委員会として再スタートし、専門職の知識と技術を出し合い、より良い看取りケアの実践を目指して動き始めた。退所された方のうち1名は在宅復帰という開設以来2例目のケースだった。ご家族からの急な申し出により退所されるまでの期間が短かったが、在宅のケアマネジャーへの情報提供も丁寧に行い、円滑に在宅復帰を果たすことができた。

## 2 入退所状況

《月別入退所状況》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者数	0	1	0	1	1	0	1	1	1	1	1	1	9
退所者数	1	0	1	1	0	1	1	2	1	1	1	0	10
退所理由	死亡		死亡	死亡		死亡	帰宅	死亡	死亡	死亡	死亡		
月末在籍者数	49	50	49	49	50	49	49	48	48	48	48	49	

## 3 入所者状況

年度末時点では在籍者が49名で、1床空床である。入居者の平均要介護度は昨年度と変わらず3.90だった。入居期間は3年～5年未満の方が30.6%と最も多く、全体的で1年～5年未満の方が半数を占めている。10年以上の入居者は5名と横ばい状態は変わらず。常に満床状態ということではなく、入所の打診をしても今はまだと断られるケースもあり、満床につなげることが厳しい状況だった。

### (1) 介護度別在籍者数

介護度別	男性	女性	合計	構成比
要介護1	0	0	0	0.0%
要介護2	0	0	0	0.0%
要介護3	3	16	19	38.8%
要介護4	3	13	16	32.7%
要介護5	0	14	14	28.6%
合計	6	43	49	100.0%
平均要介護度	3.50	3.95	3.90	

### (2) 年齢別状況

年齢	男性	女性	合計
-64	0	0	0
65-69	0	0	0
70-79	1	5	6
80-89	3	20	23
90-99	2	17	19
100-	0	1	1
合計	6	43	
平均年齢	87.0	88.0	87.7
最高年齢	94	104	
最低年齢	78	73	

### (3) 出身地別

市町別	男性	女性	合計
与謝野町	5	40	45
伊根町	0	1	1
宮津市	1	1	2
その他	0	1	1
合計	6	43	49

### (4) 入所期間割合

入所期間	人数	割合
10年以上	5	10.2%
5年以上～10年未満	9	18.4%
3年以上～5年未満	15	30.6%
1年以上～3年未満	12	24.5%
1年未満	8	16.3%
合計	49	100.0%

#### 4 入所者の健康状況

##### (1) 利用者の診察状況

診察別	入院		通院	診察別	入院		通院
	人数	日数	日数		人数	日数	日数
内科系疾患	6	81	27	耳鼻科系疾患	0	0	0
外科系疾患	3	65	7	皮膚科系疾患	0	0	16
精神科系疾患	0	0	36	泌尿器科系疾患	3	20	9
婦人科系疾患	0	0	0	整形外科系疾患	3	36	17
眼科系疾患	1	6	38	歯科系疾患	0	0	0
				合 計	16	208	150

##### (2) 嘱託医来診状況

診療所別	来診実日数	1ヶ月当りの平均日数
伊藤内科医院	26	2.16
宮津市由良診療所	25	2.08

#### 5 サービス状況

個別及びユニット単位での取り組み以外に、2ユニットずつのグループ単位での外出や楽しみの時間をもつことが多かった。また、月1回虹の会での取り組みや月2回の喫茶で、ユニットを越えた入居者の交流の機会があった。その他毎日午前中にテレビ体操を行い、身体機能の低下防止や気分転換の場となっている。今年度も継続して習字を地域のボランティアの方にお世話になった。地域の方のお誘いを受けて、他の利用者と一緒にさつま芋の苗植え及び芋掘りに参加し、地域との交流の場をもつことができた。

##### (1) 部署・ユニット行事

月/日	行 事 名	参加者数	月/日	行 事 名	参加者数
4/16	虹の会(花見)	15	10/1	ドライブ(Aグループ・お菓子の館)	5
4/26	喫茶	35	10/10	習字	10
4/30	加悦谷祭り見学(西2)	3	10/11	喫茶	30
5/2	ドライブ(東2)	2	10/14	芋掘り	4
5/3	ドライブ(東2・岩滝シーサイドパーク)	2	10/18	与謝野町敬老会	10
5/10	喫茶	30	10/23	運動会	45
5/12	外出(Bグループ・喫茶店)	5	10/25	喫茶	35
	食レク(Aグループ・握りずし)	21	10/27	外食(東2スシロー)	2
5/18	食レク(東2・焼きそば)	15	11/1	チューリップ球根植え(中学生と)	20
5/22	虹の会(卓球バレー)	20	11/6	習字	10
5/24	喫茶	25	11/8	虹の会(喫茶&お茶会)	40
5/29	外出(Aグループ・一字観公園)	7	11/14	食レク(Aグループ・握りずし)	15
5/30	食レク(東1・お好み焼き)	10	11/22	喫茶	35
6/6	外食(Aグループ・スシロー)	4	12/11	習字	10
6/8	外食(東2)	2	12/13	喫茶	45
6/14	喫茶	30	12/17	クリスマス会(Bグループ)	26

6/26	虹の会(喫茶店)	5	12/22	クリスマス会(Aグループ)	23
7/5	習字	11	12/28	もちつき大会	40
7/12	喫茶&虹の会(そうめん流し)	40	1/3	初詣	4
7/26	喫茶	35	1/10	喫茶	35
7/30	Aグループカラオケ大会	15	1/15	習字	10
8/7	習字	10	1/17	初詣(Aグループ)	4
8/9	喫茶	40	1/24	喫茶	45
8/14	虹の会(盆供養)	25	2/3	虹の会(豆まき)	40
8/23	喫茶	35	2/3	食レク(西2・ロング巻き寿司作り)	14
8/30	西2花火大会	10	3/4	ドライブ(Aグループ)	9
9/11	習字	10	3/14	喫茶	35
9/23	敬老祝賀式	45	3/28	喫茶	40
			3/30	虹の会(花見)	9

# 平成29年度 ケアハウス虹ヶ丘 事業報告書

## 1 総括

今年度の退去者は5名で、退去理由は特養入所が2名、体調不良による入院が2名、自宅での生活再開が1名であった。入居者は6名で、入居理由は独居生活が困難となり、入院、施設を経てこられた方、自宅や家族はあるが、仕事や障害のため食事等の援助が受けられにくい方、自宅環境よりもバリアフリーの環境を希望されての入居等である。

入居者の生活状況は、昨年度初めには施設内でのインフルエンザの感染が見られたため、以降は定期的な体調観察を行うことで異常を早期に発見し、受診の促しや介助、加湿や換気等の環境調整の対応を行ったことで、今年度はケアハウス内で感染症の流行は見られなかった。今までは2名の医師の訪問診療を受けていたが、今年度途中より1名の医師については運動機能の高い方に対する訪問診療ができなくなったため、毎月施設職員による集団送迎を行い、必要な情報は主治医へお伝えするようにしている。認知機能の低下等により、食事の管理ができずに体調不良を繰り返されている利用者に対して、家族と相談の上、金銭管理を一部職員が手伝うことで、多量の食物購入や過剰摂取を制限し、体調が維持できるように援助している。直接的な介護は原則行わないケアハウスではあるが、今後もきめ細かな状態観察や、主治医、関係機関、家族との連携を行い、安定した体調で生活できるよう支援していきたい。

## 2 入退居状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居者数	0	2	0	0	1	0	1	1	0	0	0	1	6
退居者数	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	5
退居理由	特養 入院				入院 特養							自宅	
月末在籍者数	11	13	13	13	12	12	13	14	14	14	14	14	

## 3 入居者状況

### (1) 年齢別構成

年齢	男性	女性	合計
－59	0	0	0
60－69	1	0	1
70－79	0	0	0
80－89	4	5	9
90－99	0	4	4
100－	0	0	0
合計	5	9	14
平均年齢	72.6	89.4	85.9
最高年齢	84	96	
最低年齢	68	83	

### (2) 出身地別状況

出身地	男性	女性	合計
与謝野町	4	6	10
伊根町	1	0	1
宮津市	0	0	0
その他	0	3	3
合計	5	9	14

#### 4 身体状況

(1)要介護度別 平均 0.7

介護度	男性	女性	合計	構成比
認定無	0	1	1	7%
要支援1	1	1	2	14%
要支援2	1	1	2	14%
要介護1	2	5	7	50%
要介護2	1	1	2	14%
要介護3	0	0	0	0%
要介護4	0	0	0	0%
要介護5	0	0	0	0%
合計	5	9	14	100%

(2)在宅サービス利用状況

利用種別	実人員	対入居者割合	備考
訪問介護	10	71.0%	
訪問看護	4	28.0%	
短期入所	0	0.0%	
通所介護	7	50.0%	
通所リハ	1	7.0%	

#### 5 行事等の実施状況

(1) 行事

月	行事名
4月	買物 外食 食事会
5月	買物 外食 食事会 歌謡ボラ
6月	買物 外食 食事会 歌謡ボラ
7月	買物 外食 食事会 オカリナボランティア
8月	買物 外食 食事会
9月	買物 外食 食事会
10月	買物 外食 食事会 歌謡ボラ
11月	買物 外食 歌謡ボラ
12月	買物 外食
1月	買物 南京玉すだれボラ
2月	買物 歌謡ボラ
3月	買物 外食 歌謡ボラ

(2) クラブ活動

月	(クラブ名)	(クラブ名)
4月	習字	
5月	習字	
6月	習字	
7月	習字	
8月	習字	
9月	習字	
10月	習字	
11月	習字	
12月	習字	
1月	習字	
2月	習字	
3月	習字	

# 平成29年度 虹ヶ丘ショートステイ 事業報告書

## 1 総括

平成29年度は、近隣地区に特養ができ利用者の減少が予測されたが、影響は少なく1日平均16.8人と利用状況は安定した1年だった。毎月70名前後の利用者のご希望にできるだけ応えられるようスケジュール調整を行い、独居の方や遠距離介護の方、長期間の利用を希望される方等、さまざまなニーズにきめ細かく対応できるように努めた一年だった。

特徴的なところでは、特養を退所され遠方の家族が帰省される時以外はショートステイを利用されている方、介護者が骨折し入院されていた数か月間にわたって利用された高齢世帯の方もあった。また、本人や介護者の体調不良や虐待が疑われるなど新規の緊急受け入れも何名もあり、初回来設時に面接を行い、そのまま受け入れる方もあった。様子が十分に把握できないままの利用になると職員は対応に苦慮することも多いが、できる限り個別の希望に応えるように努めた。その他には独居で癌に罹患されたターミナルケアの方や、ご家族と同居されていたが介護負担の増大に伴い、体調が不安定な状態での受け入れを行ない、看取りに移行した方もあった。ショートステイで看取りを経験することは少ないため職員も不安な気持ちを抱えつつ、ご家族、主治医、訪問看護、ケアマネとも十分に連携をとりながら必要なサービス提供に努めた。心身の状態が不安定な方については、近隣の訪問看護サービスの協力により、職員にとっても安心して介護サービスを提供することができ、長年当事業所をご利用いただいた方に最期まで支援させていただくなど、多職種連携がいかに重要であるかを考えさせられる経験をさせていただいた。地域包括ケアの整備が進められているが、今後も利用者が住み慣れた地域で最期まで過ごせるように関係機関との連携を重視し、より柔軟できめの細かい受け入れが可能となるようにしていきたい。

身体拘束についてはご家族の強い希望を受けて四点柵を実施している利用者があるが、少しずつ解除に向けての取り組みを進めているところである。解除にはご家族との信頼関係が必要なため、日頃のコミュニケーションを大切にしていきたいと思っている。その他のご利用者に対しても、ご利用者やご家族とのコミュニケーションを密に行い、信頼し安心してショートステイを利用していただけるようにしていきたい。

## 2 利用状況

### (1) 町別利用状況

月	与謝野町	伊根町	宮津市	その他	合計	1日平均
4月	496	0	0	0	496	16.5
5月	526	0	0	0	526	17.0
6月	473	0	4	0	477	15.9
7月	493	0	4	0	497	16.0
8月	520	0	4	0	524	16.9
9月	514	0	4	0	518	17.3
10月	517	0	5	10	532	17.2
11月	506	0	0	4	510	17.0
12月	506	7	0	0	513	16.5
1月	484	0	0	0	484	15.6
2月	503	0	0	0	503	18.0
3月	555	0	0	0	555	17.9
合計	6,093	7	21	14	6,135	16.8



## (2)実人数・受入状況他

月	実人数	介護	予防	障害	1人当り平均利用日数
4月	76	73	2	1	7.3
5月	77	74	2	1	7.1
6月	72	69	2	1	6.7
7月	76	73	2	1	6.7
8月	73	70	2	1	7.2
9月	73	69	3	1	7.1
10月	75	73	1	1	7.5
11月	77	74	2	1	6.8
12月	74	71	2	1	7.5
1月	68	65	2	1	7.1
2月	67	63	3	1	7.5
3月	74	70	3	1	7.5
平均	73.5	70.3	2.2	1.0	7.2

## (3)年齢別状況 3月度

年齢	男性	女性	合計
-64	0	1	1
65-69	0	3	3
70-79	1	4	5
80-89	7	22	29
90-99	3	28	31
100-	0	5	5
合計	11	63	74
平均年齢	87	89	88.5
最高年齢	97	101	
最低年齢	79	59	

## (4)要介護度別状況(3月度)

介護度別 平均 2.8

介護度	男性	女性	合計	構成比
要支援1	0	1	1	1.4%
要支援2	1	1	2	2.7%
要介護1	0	10	10	13.7%
要介護2	2	16	18	24.7%
要介護3	4	17	21	28.8%
要介護4	4	8	12	16.4%
要介護5	0	9	9	12.3%
合計	11	62	73	100.0%

## 障害区分別 平均 6.0

	男性	女性	合計	構成比
区分1	0	0	0	0.0%
区分2	0	0	0	0.0%
区分3	0	0	0	0.0%
区分4	0	0	0	0.0%
区分5	0	0	0	0.0%
区分6	0	1	1	100.0%
合計	0	1	1	100.0%

1 総括

平成29年度は長期療養する職員があり、1名欠員の状態でスタートした。与謝野町内の通所介護事業所が3カ所、近隣地域に特別養護老人ホームが開設された影響もあり、新規利用者の相談、受入れの少ない時期が続き、稼働率が昨年度よりも平均1.3減少した。

昨年度から中重度者ケア体制加算を算定していることから、積極的に重度の方の受入れを行っていきたくところではあったが、地域の傾向として老健や特養に入所しやすい状況が続いたため、受入れ件数の増加にはつながらなかった。利用者数の減少はあったが、きめ細やかで丁寧な対応、充実したサービスの提供に努め、特に中重度の認知症の方については、個々の状況に応じた環境作りやその場の状況に合わせた臨機応変な対応を心がけた。利用者への丁寧なアセスメントを行なった上でのサービス提供を繰り返すことで、職員のスキルアップ、チーム力の向上にもつながったと思われる。さらに来年度より認知症加算の算定を予定していることもあり、今後も認知症に対する理解を深め、認知症を抱えるご利用者、ご家族が安心して地域で暮らせるよう支援していきたい。また、引き続き重度のご利用者の受入れや、現在のご利用者の振替利用、追加利用についても柔軟に対応していきたい。

2 サービス実績の状況

	開所日数	実人数	介護	総合事業・予防	障害	延利用人数	介護	総合事業・予防	障害	1日平均	介護	総合事業・予防	障害
4月	25	70	55	15	0	466	390	76	0	18.6	15.6	3.0	0.0
5月	27	74	61	13	0	513	434	79	0	19.0	16.1	2.9	0.0
6月	26	73	60	13	0	506	434	72	0	19.5	16.7	2.8	0.0
7月	26	74	62	12	0	514	446	68	0	19.8	17.2	2.6	0.0
8月	27	72	60	12	0	480	415	65	0	17.8	15.4	2.4	0.0
9月	26	72	61	11	0	491	421	70	0	18.9	16.2	2.7	0.0
10月	26	74	62	12	0	508	437	71	0	19.5	16.8	2.7	0.0
11月	26	76	64	12	0	491	424	67	0	18.9	16.3	2.6	0.0
12月	26	70	59	11	0	476	420	56	0	18.3	16.2	2.2	0.0
1月	27	70	59	11	0	458	395	63	0	17.0	14.6	2.3	0.0
2月	24	69	57	12	0	440	361	79	0	18.3	15.0	3.3	0.0
3月	27	72	60	12	0	502	429	73	0	18.6	15.9	2.7	0.0
合計	313	866	720	146	0	5,845	5,006	839	0	18.7	16.0	2.7	0.0

3 介護度別利用状況

(1) 介護度別

平均 1.9

項目	男性	女性	合計	構成比
要支援1	0	1	1	1.4%
要支援2	3	8	11	15.3%
要介護1	5	19	24	33.3%
要介護2	1	18	19	26.4%
要介護3	2	7	9	12.5%
要介護4	1	4	5	6.9%
要介護5	1	2	3	4.2%
合計	13	59	72	100.0%

(2) 障害区分別

平均

項目	男性	女性	合計	構成比
区分1	0	0	0	0.0%
区分2	0	0	0	0.0%
区分3	0	0	0	0.0%
区分4	0	0	0	0.0%
区分5	0	0	0	0.0%
区分6	0	0	0	0.0%
合計	0	0	0	0.0%

#### 4 年齢構成別登録状況

##### (1)介護サービス

	男 性	女 性	合 計
－64	0	1	1
65－69	1	1	2
70－79	4	2	6
80－89	2	18	20
90－99	3	24	27
100－	0	4	4
合 計	10	50	60
平均年齢	83.5	89.4	86.5
最高年齢	97	101	
最低年齢	69	47	

##### (2)予防・総合事業サービス

	男 性	女 性	合 計
－64	0	0	0
65－69	0	0	0
70－79	0	0	0
80－89	2	5	7
90－99	1	4	5
100－	0	0	0
合 計	3	9	12
平均年齢	87.0	88.5	87.8
最高年齢	95	97	
最低年齢	80	81	

##### (3)障害サービス

	男 性	女 性	合 計
－64	0	0	0
65－69	0	0	0
70－79	0	0	0
80－89	0	0	0
90－99	0	0	0
100－	0	0	0
合 計	0	0	0
平均年齢			
最高年齢			
最低年齢			

#### 5 デイサービス行事

月	行 事 名
4月	花見ドライブ、買い物レク
5月	三河内祭り見学、藤の花見外出(夜久野)、買い物レク
6月	運動会、買い物レク
7月	あわしま祭、リハビリ勉強会、食レク、買い物レク
8月	夏祭り、サポート岩屋合同夏祭り、買い物レク
9月	遠足(伊根町)、買い物レク
10月	芋掘り、買い物レク
11月	紅葉ドライブ、文化祭(岩屋、ウイル、虹ヶ丘)、食レク、リハビリ勉強会、買い物レク
12月	クリスマス会、もちつき、買い物レク
1月	初詣ドライブ、大正琴演奏会、買い物レク
2月	節分食レク、買い物レク
3月	ひな祭食レク、リハビリ勉強会、買い物レク

# 平成29年度 虹ヶ丘在宅介護支援センター 事業報告書

## 1 総括

今年度は、居宅介護支援件数は1279件と昨年に比べて30件減少となっているが、年度末の担当件数は113件／月となっており、昨年と同等である。件数の減少については、職員体制が今年度から5名から4名体制に減員となったことが最大の要因と考えられるが、近隣の特養の空床や在宅での看取り件数の増加によって、施設へ入所されるケースや短期間のターミナルケアのケースを対応することも多くあったため、それらも件数が伸びにくかった要因としてあげられる。

しかし、今年度は居宅介護支援事業所として”選んでいただける事業所”、”住み慣れた地域で最期まで暮らせるを支える事業所”を目指すことに加え、個々の担当件数の増も意識した。新規の受け入れは多い月で10件を受け入れたり、また要介護から要支援となられた方についても環境や状況に応じて地域包括支援センターからの委託という形で引き続き支援することとし、今年度は1名の委託を受け支援している。このような意識改革により、一人当たりの担当件数は伸びているといえる。

今年度は積極的に外部研修に参加し、自己研鑽の意識を高くもつようにも心がけた。また介護支援専門員実務者研修実習者1名の受け入れや施設内の介護支援専門員受験対策講座も昨年度に引き続き講師を担当し、後進の育成に努めた。12月には実地指導を受けることにより、日頃の業務管理について、改めて確認と検討を行い、いくつかの業務手順を改善した。

来年度は、引き続き地域に密着した相談センターとして、最期まで地域で安心して暮らせるように医療機関・他のサービス事業所と連携を図り、暮らしやすい町となるように課題抽出し街づくりの一端を担い地域貢献をしていきたいと思う。

## 2 事業実施状況

### (1) 受入実績

	居宅介護支援								介護予防支援		
	件数	初回加算	入院時情報連携加算Ⅰ	入院時情報連携加算Ⅱ	退院退所加算	緊急時カンファレンス加算	小規模多機能型連携加算	特定事業所加算Ⅱ	件数	初回加算	小規模多機能型連携加算
4月	107	3	1	0	0	0	0	107	0	0	0
5月	109	5	1	0	1	0	0	109	0	0	0
6月	103	2	0	2	0	0	0	103	0	0	0
7月	102	5	3	1	1	0	0	102	0	0	0
8月	102	3	3	2	1	0	0	102	0	0	0
9月	103	4	2	0	4	0	0	103	0	0	0
10月	108	10	4	0	3	0	0	108	0	0	0
11月	108	6	1	0	2	0	0	108	0	0	0
12月	109	4	5	0	1	0	0	109	0	0	0
1月	106	4	2	1	0	0	0	106	0	0	0
2月	109	6	1	1	2	0	0	109	1	1	0
3月	113	9	6	0	3	0	0	113	1	0	0
合計	1,279	61	29	7	18	0	0	1,279	2	1	0

## (2) 相談内容別・経路別実績

相談区分	件数	実人数	相談区分	件数	実人数
介護保険関係	95	54	他サービス利用	15	9
医療健康相談	1,922	160	介護保険以外のサービス	23	14
デイサービス利用	1,148	122	認知症の介護に関する相談	161	36
ホームヘルプ利用	529	62	介護に係る相談	99	39
訪問入浴利用	61	19	担当者会議	210	118
ショートステイ利用	631	86	モニタリング	1,400	150
訪問看護利用	433	62	虐待に関する相談	3	2
デイケア利用	11	3	権利擁護に係る相談	2	1
施設入所関係	141	51	その他	447	115
住宅改修・福祉用具	772	115	合計	8,103	1,218

区分	電話	来所	訪問	文書	FAX	メール	その他	合計
本人	550	35	1,994	43	3	1	237	2,863
家族	734	55	1,545	9	0	2	113	2,458
関係機関	806	44	982	83	9	1	287	2,212
相談協力員	0	0	1	0	0	0	0	1
その他	9	0	7	0	0	0	2	18
合計	2,099	134	4,529	135	12	4	639	7,552

# 平成29年度 虹ヶ丘ホームヘルパーステーション 事業報告書

## 1 総括

平成29年度は2月を除いて毎月新規のご利用者があったが、ターミナルケアでの利用、長期入所、家族の支援によってニーズが解消されるなど、短期間で利用が終結となるケースも多くあり、訪問件数は減少している。特に冬場は老人保健施設を利用されたり、積雪・寒さでの中止もあり、減少幅が大きかった。要介護度は、要支援と要介護1の方が多く、依頼の傾向としては生活援助が多くなってきており、近隣の訪問介護事業所も同じような傾向にあると聞いている。難病(ALS)の方の利用も受けており、多職種が連携して支援を行なう中で、「ヘルパーとしてできること」、「ヘルパーだからできること」を意識しながら、またご利用者の気持ちに少しでも寄り添えるように援助を行うように努めた。しかし病気の理解がまだまだ足りない部分もあり、知識や技術の研鑽の必要性を感じている。障害者自立支援法でのご利用は新規のご利用が2名あり、合わせて4名にサービス提供することとなった。新規の2名とも就労継続支援事業所に通われており、帰宅後の支援という今までにない形であったため、ご利用者の生活をより知るために、また支援チームの一員としてご利用者の生活を支えるために、就労継続支援事業所の見学も行った。

ヘルパー研修では今年度は地域リハビリテーション支援センター(丹後中央病院)の研修会に参加したり、訪問看護ステーションの管理者を講師に招いて終末期の支援について勉強会を行ったり、その時々課題に対するテーマを取り入れながら実施した。中でも終末期の勉強会では職員が普段から感じていた精神的負担の軽減とサービスを提供する上での自信にもつながる形になったのではないかと思う。

平成29年度は新人の登録ヘルパーを迎え、1つ1つの援助方針や手順についてチーム内で確認し合い、また互いに支え合いながらやってきた。今のチームワークを維持しながら、細部にもいきわたる援助ができるよう1人1人のレベルアップを図り、ご利用者が安心して自分らしく在宅生活を送れるよう取り組んでいきたい。

## 2 利用者状況

(1)要介護度別 3月度 平均 1.9

	男性	女性	合計	構成比
要支援1	1	2	3	8.8%
要支援2	2	2	4	11.8%
要介護1	3	8	11	32.4%
要介護2	5	1	6	17.6%
要介護3	2	4	6	17.6%
要介護4	0	0	0	0.0%
要介護5	1	3	4	11.8%
非該当	0	0	0	0.0%
合計	14	20	34	100.0%

(2)障害区分別 3月度 平均 3.3

	男性	女性	合計	構成比
区分1	0	0	0	0.0%
区分2	0	0	0	0.0%
区分3	3	0	3	75.0%
区分4	1	0	1	25.0%
区分5	0	0	0	0.0%
区分6	0	0	0	0.0%
合計	4	0	4	100.0%

## (3) 年齢別 3月度

	男性	女性	合計
－59	4	0	4
60－64	2	0	2
65－69	3	1	4
70－79	1	1	2
80－89	5	8	13
90－99	3	7	10
100－	0	3	3
合計	18	20	38
平均年齢	73.5	89.1	81.7
最高年齢	92	105	
最低年齢	54	67	

## (4) 介護サービス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護	166	143	131	154	189	178	134	163	123	92	86	130	1689
身体生活	6	4	4	8	0	2	3	5	0	0	0	0	32
生活援助	92	102	89	117	160	104	118	107	132	133	90	104	1348
延件数	264	249	224	279	349	284	255	275	255	225	176	234	3069
訪問時間	206.3	203.0	246.4	246.4	239.6	209.0	198.8	209.8	207.6	189.0	143.3	175.4	2474.3
初回加算	1	2	3	1	2	2	4	3	2	1	0	4	25
緊急時加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実利用人数	31	30	30	29	29	29	29	30	29	27	22	26	54

## (5) 介護予防・総合事業サービス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延件数	29	30	29	29	40	45	42	44	44	37	42	54	465
訪問時間	27.0	28.3	27.3	27.3	38.3	44.0	42.0	44.0	44.0	37.0	41.5	54.0	454.7
初回加算	1	0	0	0	2	0	1	0	0	0	1	0	5
利用実人数	4	4	4	4	6	5	6	6	6	5	7	7	8

## (6) 障害サービス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延件数	42	45	45	45	42	41	44	48	41	44	39	51	527
訪問時間	21.0	22.3	22.3	22.3	20.6	20.3	21.6	24.8	23.8	24.3	20.6	27.1	270.9
利用実人数	2	2	2	2	2	2	2	3	3	4	4	4	4

# 平成29年度 ふれあいホーム神宮寺 事業報告書

## 1 総括

平成29年度の登録者数については、年間平均21.2名/月で、前年度と同じだった。特色としては、要介護5の利用者が年間通して0名、要介護4の利用者が年度中2名(1名は入院で終結、1名は要介護3になられた)と、重度の利用者が非常に少なく、要介護1の利用者が月によっては半数を占める時もあり、軽度の利用者が増えている。また、高齢・独居世帯が15名と半数以上を占めており、昨年度に続き、家族になるべく負担のかからないように一人で行うことはしながら自宅での生活を続けておられる方々の利用が増えている。認知症等の病気に伴って、日常生活の中で難しくなってきた行為に特化した支援が継続しており、訪問介護や通所介護単体では融通がつきにくく、個々のニーズに合わせて援助内容をカスタマイズしやすい小規模多機能型の柔軟性が周知されてきているのと、独居、高齢者世帯の増加や同居家族の共働きなど家族状況の変化によって、社会的にも小規模多機能型の必要性が高まってきていると感じられる。

上半期は登録者数が低迷していたため、旧岩滝地区の方を受け入れたり、法人外の事業所にも魅力発信を行う等の工夫をし、地域包括支援センターからは独居・高齢世帯で訪問・通いが将来的に必要と感じる方は、最初に神宮寺に相談を入れていると言ってもらえるようになり、登録者が年度末には25名一杯になり、様々な試みの成果が出てきたのではないかと感じている。

平均介護度は1.6と、28年度より0.1下がっている。要介護3以上の方は施設入所を選択される傾向のため、今後も重度の新規登録者は見込み難いと思われる。

通いの平均は244.2/月で、28年度の273.4/月より下がっている。台風のために3回通いを中止したが、大雪による中止はなかった。また訪問は306.9/月で、28年度の344.2/月でより下がっている。前年度は400件/月越えの訪問回数があったが、今年度は300件台/月に留まった。特出すべきは泊りの回数で、上半期は前年度とほぼ変わらず延宿泊数10数件/月程度であったが、12月以降急増し、2月3月は60件前後/月と、開設以来最も多い延宿泊数になった。今冬の寒さにより、独居・高齢世帯では寒さがしのげず自宅生活が困難で体調不良になる方が数名おられ、約1ヶ月連泊される方もおられた。実人数は少ないが、毎週連泊を希望される方もあり、しばらくは一定数の延宿泊数が続くと思われる。

年間を通しての活動は、利用者の希望に沿っての作業レクや外出レクを行ったり、体操や散歩を行ったが、来年度は通いの時間を一層楽しんでいただけるように工夫を図っていきたい。年度によってニーズや特色は異なるが、ご利用者一人ひとりにしっかりと寄り添い、ご家族や地域と協力しながら個々の生活と生命を支えていけるよう、小規模多機能型ならではの柔軟なサービスを武器に今後も積極的に対応していきたい。

### 【地域支援事業】

いしかわサロンについては、従来の形に加えて28年度から午後からだけのミニいしかわサロンも始めており、2つを合わせると、6つの地区公民館に、3ヶ月に1回は巡回できるようになり、参加者からも回数増加を喜んでいただいている。地区によっては参加者に体操の講師をお願いし、徐々に参加者主体になっていくような工夫を行っている。あわしまサロンも月2~3回実施し(その内1回は神宮寺内で茶話会メインのてらのカフェ)、新しい参加者も増えて毎回10名前後の方が参加され、かごバッグ編みという難しい物から裁縫せずにできるポーチ等、様々な物づくりを行った。夏休みの工作教室は小学生22名もの参加があり、餅つき大会も30名近くの参加者があったりと、地域の方参加型の行事も徐々に定着しつつある。

訪問活動も、毎月いしかわサロンに合わせて、民生委員と地域回りを行った。また、職員だけでも地域回りをしている。他にも個別相談や戸別訪問の実施、29年度から設置された認知症初期集中支援チームに協力しての訪問など、新たな活動も行っている。



## 2 利用者状況

### (1) 利用状況

	月末登録者数	平均介護度	延通所数	延訪問数	延宿泊数
4月	21	1.5	242	246	19
5月	21	1.6	269	336	16
6月	19	1.5	249	311	14
7月	19	1.4	240	270	17
8月	19	1.4	228	302	12
9月	20	1.4	208	302	17
10月	21	1.4	227	363	14
11月	22	1.6	227	389	17
12月	21	1.6	253	367	28
1月	21	1.5	216	292	31
2月	25	1.6	259	251	62
3月	25	1.6	312	254	57
年間平均	21.2	1.5	244.2	306.9	25.3

### (2) 登録状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規者数	1	1	1	0	1	1	2	1	0	2		2	16
中止者数	0	1	3	0	1	0	1	0	1	2	0	2	11
中止理由			特養入所 体調回復 介護者復帰		特養入所		入院		入院	死亡 入院		老健入所 入院	
月末登録者数	21	21	19	19	19	20	21	22	21	21	25	25	

### (3) 年齢別状況 3月度

	男性	女性	合計
－64	0	0	0
65－69	1	0	1
70－79	2	2	4
80－89	3	7	10
90－99	2	8	10
100－	0	1	1
合計	8	18	26
平均年齢	82.5	89.6	87.3

### (4) 介護度別状況 3月度

	男性	女性	合計
要支援1	0	1	1
要支援2	0	1	1
要介護1	0	10	10
要介護2	4	5	9
要介護3	3	1	4
要介護4	1	0	1
要介護5	0	0	0
合計	8	18	26

### 3 部署行事

月	行 事 名
4月	遠足(虹ヶ丘・雲岩公園)・花見ドライブ・加悦谷祭り
5月	ドライブ(阿蘇シーサイドパーク)・壁画作り
6月	あわしま祭り用景品作り・壁画作り
7月	あわしま祭り・あわしま祭り用景品作り・ドライブ
8月	夏休みふれあい工作教室・いしかわサロン合同流しそうめん
9月	敬老週間・ドライブ(波見方面)・彼岸(おはぎ作りとご詠歌)
10月	芋ほり・栗拾い・遠足(舞鶴引揚記念館)・文化祭用作品作り
11月	ドライブ(阿蘇シーサイドパーク・紅葉狩り)・文化祭(石川区・ウイル)
12月	餅つき大会・クリスマス会・忘年会(鍋)・門松作り
1月	新年祝賀式・初詣(後藤神社)・鏡開き
2月	節分(巻き寿司)・石川小学校3年生との交流会・小学生へのお土産作り
3月	雛祭り(ばら寿司)・彼岸(ぼた餅作りとご詠歌)・ドライブ(大宮方面・加悦谷方面)